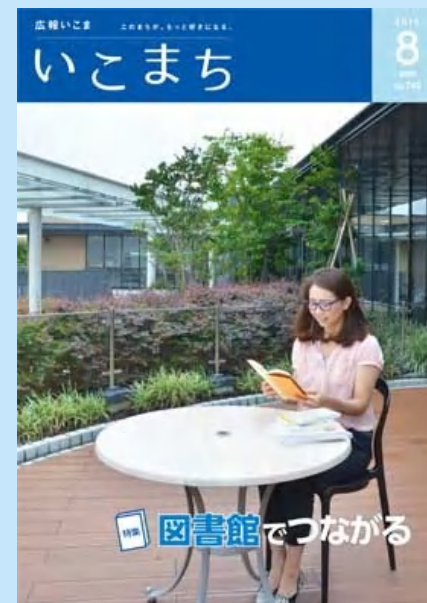


～人と本、人と人を つなぐ図書館～

平成28年10月8日



こむらさき
生駒市長

こむらさき
小紫

まさし
雅史

I 生駒市の現状と課題



生駒市は・・・



- 人口約12万人の典型的な住宅都市
- 特徴として、専業主婦率が高い、大阪への通勤率が高い、地元消費が少ない
- 少子高齢化により、住民税・固定資産税に頼っていた財政構造に大きな影響を受ける
- 市民力が高く、街づくりへの関心・行動力があり、ボランティア活動も盛ん

生駒市図書館の利用状況

- ・ 市内の図書館
本館・鹿ノ台図書室・南分館・北分館・駅前図書室
- ・ 年間貸出冊数 130万冊 (H27)
- ・ 利用券登録率 51.8% (H27)
- ・ 生駒駅前図書室の来館者数 30万人
(開室から1年間)



市民の読書熱は高い

生駒市が、これからの時代を生き残るために必要なこと

1. これまで以上に、教育・子育て施策を進め、子育て世帯を呼び込む
2. 住民税・固定資産税に頼らないまちづくり、地元活性化と産業振興、おしゃれな中心市街地の形成
3. 高い市民力を生かし、市民等との「協創」を進めて、多様なサービスを展開する



「人と本との出会い・人と人とのふれあい」

人づくりとまちづくりを進めるうえで重要な核と

なる、「知と**行動**の拠点」としての図書館を目指す

Ⅱ 生駒市図書館の取組

～課題に対応するために図書館
がやっていること～

平成14年度文部科学大臣表彰受賞

- ・子どもの読書活動の推薦、ボランティア養成講座の実施
- ・県内公共図書館児童サービスの牽引役

1. 教育・子育てに対する図書館の役割

○ブックスタート

絵本と絵本リスト等を「こんにちはあかちゃん事業」で配布

○生駒駅前図書室における子育てへの各種の配慮・工夫

一般利用者から離れた場所に子ども用スペースを配置



○市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校と連携

- ・ 出前授業、図書館見学、職場体験学習
- ・ 学校図書館司書向けの支援や研修会を実施
- ・ 学校ボランティアや保護者、教諭等への研修・連携

生駒小学校が平成28年度文部科学大臣表彰受賞

(図書ボランティア「としょっクス」の読書活動)

- ・ 「としょっクス」による朝の読み聞かせ
- ・ 子どもたちが自ら選んだ本を読む「読書タイム」
- ・ 読書活動推進への手立てなどに積極的に取り組む

○生駒市長杯ビブリオバトル市内中学生大会

中学生の読書促進はもちろん、主体的に本を選び伝えるプレゼンテーション能力を育む



○対象年齢の異なる5種類のブックリスト作成配布、掲載 図書館の団体貸出

- ・市内の保育園、幼稚園、小・中学校と連携して配布、団体への貸出も
- ・オープンデータとして市ホームページで提供、アプリの開発（iko mama papaアプリ最優秀賞）



2. 産業活性化や街づくり、シティプロモーションのための図書館の役割

(1) 産業活性化と街づくり

- **駅前図書室の活用による地元消費の促進**
利便性や読書環境の向上により、図書館利用と地元での消費拡大につなげる。
- **生駒駅前図書室ギャラリーでのイベント**
より多くの集客を実現し、今まで本や図書館に関心のなかった方にも興味をもってもらおう
- **図書館 de 婚活～恋する図書館～**
図書館が出会いの場を提供し、若い世代の図書館利用を促進



○他のまちづくりイベントとのコラボ

- ・「ハロウィンスタンプラリー」（青年チーム）の会場として図書室を開放
- ・ビブリオバトルの優勝賞品として、まちなかバルのチケットを活用
- ・駅前広場でのイベント開催時に子供の休憩所を兼ねた読み聞かせを実施



(2)シティプロモーション

- **文学作家講演会講師として又吉直樹氏等を招へい**
 - ・ 又吉直樹氏の講演会と著者を特集したコーナーの設置
 - ・ 森見登美彦氏などの講演などで全国からの集客と生駒市のPRを実現。
- **ビブリオバトル全国大会inいこま**
 - ・ 全国からバトラーと観戦者が集まる。年齢無制限の全国規模は初開催
 - ・ 津村記久子氏の講演会も開催。



等身大パネルと展示

3. 高い市民力を生かした「協創」を実現する拠点としての図書館

(1) 様々な年代が集まる場所での様々なまちづくり

○ 高齢者、子育て世代の女性、子どもが集まる場

- ・ 高齢者、子育て世代が自然に集まる場所
- ・ 高齢者が過去のご経験を語り合う、子育て世代が子育ての相談をし合う
- ・ 図書館をまちづくりや創業へつなげていく場にする



(2)本を切り口にした「協創」の取組

○本の宅配サービス

図書館へ来館するのが難しい方へボランティアが宅配

○耳で楽しむ本の会

- ・目が見えにくくなった方に、音訳で本の朗読を行う。
- ・ボランティア養成講座修了生により開催

○奈良昔ばなし大学の開催

- ・小澤俊夫氏が全国各地で開いている昔ばなし大学
- ・奈良昔ばなし大学実行委員会と共催。



○生駒おはなしの会

- ・語り手養成講座の修了生等で構成
- ・平成20年度子どもの読書活動優秀実践団体（者）として文部科学大臣表彰受賞

○生駒ビブリア倶楽部

- ・定期会、関西大会、大学生大会予選会等を共催
- ・図書館と生駒ビブリア倶楽部が「Bibliobattle of the Year2016 優秀賞」を共同受賞



Ⅲ これからの方向性



(1) 全国でも最優秀な司書人材を確保

街づくり意識や行動力も兼ね備えた優秀な司書の採用を推進

(2) 「協創」による図書館サービスや街づくりとのコラボのさらなる推進

司書が市民や事業者との信頼関係を構築し、力も借りることで、より多様なサービスや街づくりの企画で連携することを目指す。

(3) ワークショップの活用による未来の 生駒市図書館のアイデア出しと協力人材 の発掘

市民によるワークショップを通して、生駒市
図書館の将来像の実現に向けて協力いただける
人材を発掘



「『ひと』にとことんこだわる」